

マタイの福音書 聖書講解シリーズ

41) 会堂管理者の娘と 長血の女いやし

マタイ 9:18-26

2020.2.23 HKJCF

1

概観

絶望の中にある人たちがイエス様と出会ってから、どのように
変えられたかを学び、そして信仰について深めていきたい。

アウトライン

1. 会堂管理者の信仰 V18-19
2. 長血の女の信仰 V20-22
3. あざ笑った人たちの信仰 V23-26

2

1. 会堂管理者の信仰 V18-19

- 1) 会堂管理者：礼拝のプログラムの管理、尊敬される職業、旧約に精通している。
- 2) ひれ伏して：娘に対する愛と必死さ；イエス様に対する敬意と信頼→ワラにもすがりたい。
- 3) 死人に手を置く要求：マタイの編集効果（イエス様の力；癒し→復活）；律法違反の要求（人の必要>律法）；要求に応じるイエス様。
- 4) 「生き返らせる」 信仰：旧約の復活の奇蹟（列王記 17:17-22; II列王記 4:32-35）。

3

2. 長血の女の信仰 V20-22

- 1) 12年間の影響：「汚れた女」のレッテル；未婚、出産の可能性、破産状態（マルコ 5:26）。
- 2) 着物のふさにさわる：迷信的？リスクを取って、立場をわきまえている信仰。注目されたくない、イエス様を困らせたくない思い。
- 3) 「きっと直る」 信仰：イエス様に対する期待（ゼカリヤ 8:23）；信仰→癒しが救いの体験に。
- 4) 「娘よ、しっかりしろ」：人混みの中で彼女に集中；彼女を励ます父親のように。

4

3. あざ笑った人たちの信仰 V23-26

- 1) 笛吹く者と騒ぐ群衆：葬儀屋のプロ。
- 2) 眠っている：実際に死んだが、決定的な死ではないという意味→あざ笑いの対象に。
- 3) 「僕らの方が知っている」 信仰：プロ意識；ナザレ出身に対する軽蔑；復活の奇蹟？
- 4) 外に出してから：不信仰者の前で奇蹟の感動を共有させたくない（マルコ 5:40）。
- 5) 広まっていくうわさ：復活は初めての出来事；預言者としての地位の確立。

5

適用

①必死でも、臆病でも主に表現するように：
行き場がなく追い詰められている時、ワラにもすがりたい時、わずかで臆病な信仰しかなくとも、イエス様に表現しよう。

②イエス様の力を信じるよう：
自分の信仰に注目するのではなく、イエス様の癒しと救いの力に着目するよう。

6